

車いすダンス国際大会

日本勢最高4位

小林さん(燕) 羽豆さん(新潟区)



車いすダンスで海外の大会挑戦を決めた小林香織さんと羽豆重村さん。燕市吉田中町

海外挑戦へ意欲

燕市の公務員小林香織さん(27)と、新潟市北区の羽豆重村さん(69)が15、16の両日、東京で開かれた車いすダンスの国際大会で4位に入賞した。日本人ペアとしては最高位。自信を深めた二人は「来年は海外で開かれる大会に挑戦したい」と張り切っている。

車いすダンスは車いすを使う人同士や、どちらかが車いすの人と、ペアになって踊る競技。大会には、国内のほか、台湾や韓国などから8組が参加した。予選を通過した6組の中で、実力のあるペアと互角に渡り合った。小林さんと車いすの羽豆さんがラテン系の音楽

に合わせ、約5分間、激しく踊った。小林さんは「今までは予選落ちだったが、海外選手に一步近づけた。海外の大会に出場しても通うする踊りになってき

たと語る。二人は5年前からペアを組んでいる。小林さんの父親が日本車いすダンススポーツ連盟の県支部長を務めている縁で出会った。年齢差はあるが「羽豆さんはスポーツ好きなのでペアを組みたかった」と小林さん。羽豆さんも

「小林さんは若くて元気があるので自分も応えようと頑張れる。若いパワーをもらえる」と笑う。3月に開かれた国内最高峰の大会でも準優勝するなど着実に実力を付けている。来春、中国・北京で開かれる大会を目標に燕市内で練習に励んでいる。

小林さんは「自分の可能性を広げたい。外の障害、福祉の取りみも学びたい」と意欲だ。羽豆さんも「車いすダンスは互いの力を合わせて初めて演技が合るのが魅力。うまい手の良い部分を自分ののにする気持ちで挑戦したい」と話していた。